

少年自然の家ハケ岳高原学園
指定管理者の管理運営に対する評価報告書
【令和 6 年度実績】

令和 7 年 7 月

少年自然の家ハケ岳高原学園 評価検討会

所管課	教育推進部学務課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日 (指定期間5年中の3年目)

1 指定管理の概要

施設名称	少年自然の家八ヶ岳高原学園
施設の設置目的	区立学校の児童・生徒の移動教室及び林間学校を行い、その心身の健全な育成を図るとともに、区民の健康及び余暇活動を促進することを目的とする。
指定管理者名称	軽井沢フード株式会社
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
公募・非公募の別	公募
管理業務内容	(1) 文京区立小学校の移動教室及び林間学校の受入に係る業務 (2) 学園の使用承認及び文京区民等の受入に係る業務 (3) 学園の施設及び設備の維持管理に係る業務
利用料金制の有無	無

2 収支状況

(1) 指定管理料及び利用料金

年度	R4	R5	R6	R7	R8
収入	指定管理料	61,072,000	61,072,000	62,269,350	
	提案事業料	153,100	130,800	171,973	
	その他雑収入	164,975	8,940	133,191	
	給食食材費（区立小中学校）	8,362,256	8,321,345	9,156,240	
	食事料（一般開放）	1,542,145	1,524,330	1,291,805	
	合計（A）	71,294,476	71,057,415	73,022,559	0 0
支出	人件費	40,715,218	40,091,830	41,019,272	
	事業運営費	738,102	890,712	874,089	
	事務用品・消耗品購入費	3,006,169	2,694,345	3,235,399	
	備品購入費	505,154	184,100	94,600	
	役務費	1,318,932	1,194,515	1,208,969	
	保守・点検費	5,853,250	7,091,499	7,504,693	
	寝具類等維持管理費	2,743,825	2,597,660	2,714,470	
	施設修繕費	758,647	1,068,100	253,000	
	施設修繕原材料購入費	234,439	497,714	295,795	
	施設維持管理費	1,016,400	163,370	209,000	
	給食等運営費	10,209,176	10,505,331	10,608,973	
	車両維持管理費	90,870	98,489	152,922	
	車両維持燃料費	94,693	147,090	135,147	
	保険料	5,000	146,120	140,490	
	職員研修費	7,974	0	0	
	通信費	448,290	449,316	483,859	
	本社管理費	3,131,131	3,364,386	3,588,476	
本社管理費内訳	人件費				
	総務・経理等人件費	1,591,131	1,314,736	1,672,348	
	支援要員人件費	0	0	0	
	福利厚生費	120,000	314,448	307,868	
	販売費・一般管理費				
	通信関係費	90,000	102,500	102,500	
	労務・会計関係	500,000	435,900	435,900	
	研修費	30,000	99,915	98,151	
	宿舎経費	100,000	246,027	91,111	
	旅費交通費	50,000	27,620	0	
	備品・消耗品関係費	200,000	238,250	238,250	
	保険料	450,000	584,990	642,348	
合計（B）		70,877,270	71,184,577	72,519,154	0 0
収支（A）－（B）		417,206	-127,162	503,405	0 0
【特記事項】					

(2) 自主事業（指定管理者の費用と責任で実施する事業）

年度		R4	R5	R6	R7	R8
収 入	使用料	231,900	67,200	240,200		
	合計 (A)	231,900	67,200	240,200	0	0
支 出	物品購入費	115,656	117,666	211,693		
	合計 (B)	115,656	117,666	211,693	0	0
収支 (A) - (B)		116,244	-50,466	28,507	0	0
【特記事項】						

3 評価検討会委員

	役職	委員名
1	座長	教育推進部長 吉田 雄大
2	副座長	教育推進部学務課長 宮原 直務
3	委員	教育推進部教育指導課長 山岸 健
4	委員	教育推進部学務課学事係長 伊藤 雄介
5	委員	教育推進部学務課施設係長 谷津 星駿
6	委員	教育推進部学務課学務主査 上田 千恵
7	委員	大塚小学校長 山下 智美
8	委員	文林中学校長 杉山 直之

4 評価の対象とした資料

	評価の対象とした資料名	評価項目番号
1	協定書（基本協定書、令和4年度協定書、取扱細目）	①
2	業務要求水準書	①
3	事業報告書 (事業計画書、企画提案書、金銭出納簿、職員研修実施報告書、利用者アンケート実施報告書を含む)	①③⑤⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑯⑯⑯
4	広報物	④
5	備品台帳	⑯
6	モニタリング結果	⑨⑯
7	苦情とその対応の記録	⑥
8	個人情報保護規定の整備状況	⑯
9	情報公開規定の整備状況	⑯
10	危機管理マニュアル及びその対応記録	⑯

5 評価結果

(1) 分野評価

評価分野	評価得点	評価項目	配点	評価	得点
サービス向上の有効性 【配点40点】	B 35点	① 協定書、業務要求水準書等で区が求めた事業が適切に実施されたか。 ② 区が求めた事業以外に、住民サービスの向上を図るために自主事業が積極的に計画され、事業計画書や企画提案書に沿って適切に実施しているか。 ③ 利用者懇談会や利用者アンケートにより、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取組が行われたか。 ④ 区民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。 ⑤ 利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。 ⑥ 利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。 ⑦ 利用者数、稼働率等の実績が、当該指定期間開始前と比べて同程度か。	4 8 4 4 8 4 8	4 3 4 4 4 3 3	4 6 4 4 8 3 6
		【評価理由】 ①学園オリエンテーリングを実際に体験してみて、広い敷地と自然の豊かさを有効活用した良い提案であると感じた。難易度も3段階に分かれており、小学生から大人まで楽しめるものである。 ②少人数利用における全体的な満足度について、「とても満足」と答えた方がアンケート結果によると100%であった。 ③利用者アンケートでは、小中学生の9割以上、区民開放の8割以上が満足と回答しており、利用者満足度が高い。また、利用者から直接指摘を受けた事項（冷気流入防止のため、部屋のカーテン丈を長くする等）について、適切に対応している。 ④遠方なので、広報活動がなかなか利用者増に直結しにくいところではあるが、インスタグラムでは学園の様子はもとより、八ヶ岳高原における四季折々の自然の恵みや、学園に出没する野生動物の情報等、興味を引く投稿をしている。過去に移動教室で利用した子どもがフォロワーになっていることもあり、今後の一般利用にもつながるものと考える。 ⑤小中学校の移動教室における利用者満足度は9割を超えており、区民利用においても高い満足度を得ている。 ⑥令和6年度は学園に対する苦情がなく、適切に対応していることがうかがえる。 ⑦少人数利用に関しては2倍以上に増加している。			
経費の効率性 【配点12点】	C 9点	⑧ 経費節減への具体的な取組を行い、その効果があつたか。 ⑨ 指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。 ⑩ 収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があつたか。	4 4 4	3 3 3	3 3 3
		【評価理由】			

評価分野	評価得点	評価項目	配点	評価	得点
管理運営の適正性 【配点36点】	C 27点	(11) 金銭の管理が適正に行われたか。	4	3	3
		(12) サービスを低下させない適切な人員配置が行われたか。	4	3	3
		(13) 職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	4	3	3
		(14) 利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	4	3	3
		(15) 備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	4	3	3
		(16) 文京区個人情報保護条例の規定を遵守し、利用者の個人情報の適正な管理のために必要な措置が講じられ、漏えい、滅失、毀損等の事故が起きていないか。	4	3	3
		(17) 文京区情報公開条例の趣旨にのっとり、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または区から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	4	3	3
		(18) 事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	4	3	3
		(19) 省エネやごみの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	4	3	3
		【評価理由】			
業務配点の改善点性	—	②0 前回の評価（一次評価及び二次評価）を受けて、適切な改善が図られたか。	—	—	—
	—	《前年度総合評価における改善すべき事項》			
	【評価理由】				

(2) 総合評価

評価	B	得点	71点 / 88点
【所見】			
<ul style="list-style-type: none">・食事については大変おいしく、栄養のバランスの良い食事を用意していただいた。いつもは好き嫌いが多く、給食を残す児童もほとんど完食していた等の良い反省が多くあった。除去食対応も適切に行ってくださった。欠席者がいたが、食数の対応などもスムーズにしてくださいました。・異物混入やアレルギー対応の事故無く、安全安心な給食が実施された。宗教にも対応している。学校からの感謝の声多数あり。・郷土食を取り入れたり、地元野菜を使用したり工夫している。これらは子どもたちの食に対する関心を高めることにつながっている。・児童の安全な生活について、配慮している。「木工作」では、危険を伴う作業は職員のが担当したほか、野外料理やキャンプファイヤーの際も職員の方がついている。・清掃が行き届いているという声が非常に多いほか、職員の臨機応変な対応に感謝する声もあり、日頃の職員の職務に対する姿勢がうかがえる。			

《評価結果の見方》

(1) 分野評価

評価項目ごとに4段階評価を行い、その結果に応じた乗率を各評価項目の配点に乗じて採点し、各評価分野の合計得点を5段階評価します。

① 4段階評価・乗率

評価	評価内容及び基準	乗率
4：優良	協定書、業務要求水準書等で区が求めた水準を超える成果がある。	100%
3：適当	協定書、業務要求水準書等で区が求めた水準を満たしている。	75%
2：課題あり	協定書、業務要求水準書等で区が求めた水準を満たしているが、一部に課題がある。	50%
1：要改善	協定書、業務要求水準書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	0%

② 5段階評価

評価	評価内容及び基準
A	当該分野について、特に優れている。 (分野の合計得点が、配点の90%以上)
B	当該分野について、優れている。 (分野の合計得点が、配点の80%以上90%未満)
C	当該分野について、おおむね適正である。 (分野の合計得点が、配点の60%以上80%未満)
D	当該分野について、改善が必要である。 (分野の合計得点が、配点の40%以上60%未満)
E	当該分野について、相当な改善が必要である。 (分野の合計得点が、配点の40%未満)

(2) 総合評価

各評価分野の得点を合計し、その合計得点を5段階評価します。

評価	評価内容及び基準
A	総合評価の結果、特に優れている。 (合計得点が、配点の90%以上)
B	総合評価の結果、優れている。 (合計得点が、配点の80%以上90%未満)
C	総合評価の結果、おおむね適正である。 (合計得点が、配点の60%以上80%未満)
D	総合評価の結果、改善が必要である。 (合計得点が、配点の40%以上60%未満)
E	総合評価の結果、相当な改善が必要である。 (合計得点が、配点の40%未満)